

ホソバイラクサ

Urtica angustifolia Fisch. ex Hornem. var. *angustifolia*
イラクサ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：県域絶滅危惧Ⅰ類

【環境省カテゴリー】—

選定理由

現在知られている生育地は1箇所のみ。標本点数も少ない。森林伐採や林道工事により生育地が失われる可能性がある。

分布

本州（中部地方以西）、四国に分布。県内ではあわら市に分布する。

種の特徴

山地の谷沿いや林縁に生える多年生草本。高さ50～150cm。葉や茎に刺毛が生える。葉は対生し、卵状長楕円形、長さ6～12cm、幅4cm以下、先は細長く尖る。托葉は離生し、各節は4個つく。花期は8～9月。花は葉腋につく。

生育を脅かす要因

森林伐採、林道工事、自然遷移。

参考文献 門田裕一ほか（2013）

市町別生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
													○				

オオシラヒゲソウ

Parnassia foliosa Hook.f. et Thomson var. *japonica* (Nakai) Ohwi
ニシキギ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：県域絶滅危惧Ⅱ類

【環境省カテゴリー】—

選定理由

生育地が限られ、個体数も少ない。花が美しいため、園芸採取の対象になりやすい。

分布

本州（中部地方以北）に分布。県内では奥越のみに見られる。

種の特徴

山地の湿地に生える多年生草本。根生葉は長い柄があり、葉身は円心形、直径4～6cm。茎葉は柄がなく茎を抱く。花期は8～9月。花茎は10～30cm、先に直径3～3.5cmの白花を1つつける。花弁は5個、縁は糸状に細裂する。

生育を脅かす要因

園芸採取、産地局限、自然遷移、河川開発。

参考文献 門田裕一ほか（2013）、福井県植物研究会（1998）

市町別生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
															○	○	

イブキタイゲキ

Euphorbia lasiocaula Boiss. var. *ibukiensis* (Hurus.) T.Kuros. et H. Ohashi
トウダイグサ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：—

【環境省カテゴリー】—

選定理由

県内の産地は2箇所のみ。1996年以降標本が採集されていない。森林伐採や林道工事によって、生育地が消滅する可能性がある。

分布

本州（中部地方）に分布する。県内では嶺北の奥越と丹南に見られる。

種の特徴

山地の草地に生える多年生草本。高さ15～50cm。茎は束生する。葉は互生し、長さ3～4cm、幅約5mm、茎の先に5枚の葉を輪生する。花期は6～7月。茎頂及び葉腋から花茎を出し、杯状花序をつける。腺体は全縁の楕円形、子房には瘤状突起がある。

生育を脅かす要因

産地局限、森林伐採、林道工事。

参考文献 佐竹義輔ほか（1982b）

市町別生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
									○							○	